

思い感じたことを
徒然なるままに

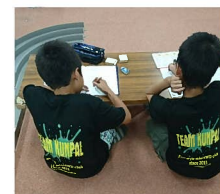
くんぱるたより

H28 9/30 NO.67



☆ キタルベキ時に備える

運動会が行われた学校も多く、親子揃って慌ただしかったかと思います。いよいよ 10 月には春日井市総合体育館でくんぱるハウス主催のミニ四駆レース開催されます。まだまだ参加申し込み募集しております。やったことないけどこれからやってみようと思う人でも参加 OK! くんぱる利用者が参加要件ですが、利用していないお友達 1 組まで招待 OK! です。遠慮なくご参加くださいませ。



さて、学童保育も昨今、アフタスクール要素のニーズが高くなってきています。保育と教育の違いがある中で、小学生を預かる場所として学校教育の方針、方向性の方を視野に学童運営していくことが必要であります。

現在、国の方では学習指導要領改定に向けての議論が交わされておるそうです。小学校は 2 年後に試験的实施、4 年後には幼少中高が完全実施されるようです。現在の指導要領の柱は「生きる力を育む」であり、今回はそれに沿って「資質、能力」という枠組みで整理し構造化する流れとなるようです。整理点は、①知識、技能—何を理解しているか、何ができるか②思考力、判断力、表現力—理解していること、できることをどう使うか③学びに向かう力、人間性—どのように社会、世界と関わり、よりよい人生を送るかという 3 点に整理し全教科に落とし込むそうです。詳細はこれからでいろんな例が載っておりましたが、要は自分で考えて、実践し、解決していく力をつけることが目的で、さらにはこれらの狙いは来るべき AI 技術の進歩による社会環境の変化に起因しているのだらうと思います。20 年後にはロボットにとって変わり、なくなるであろう職業がかなりの数で増える



と予想されております。要はマニュアルでやれる仕事は人でなくロボットがやってしまう

という社会になっていくということです。
指示待ち、言われたことしかやらない、やれない人間は機械に淘汰されてしまう時代がやってくる可能性が高いということです。

「ooだけどうすればいい?」のようなセリフをよく耳にします。答えを決めてもらう、つまりは指示待ちです。今の子は誰かがやってくれる、危険を取り除いてくれるような世の中。だから社会に出る歳になり、いざ社会に出ても何もできずに精神的に参ってしまい、社会のステージから降りてしまうケースをよく聞きます。特に男子に多いと聞きます。母親の行き過ぎた思いが成長段階でのチャンスの芽を紡いでいることが大いに影響していると言われます。我々のような学童ではいかに普段よりも「便利」をなくし、生活も遊びも自らの頭で考えて日々過ごすことを最重要視しなくてははいけないと思います。「基本的な生活と遊びを保障する」のが学童の定義であり、その中で成長に必要な挑戦、失敗、乗り越える、そして成長するという機会を与えられる現代における数少ない場所であると実感しております。子を思い親が前に出て防波堤になりすぎる時代です。某芸能人が息子の出かける先々に付いてきたり、すぐに電話してきたり...というのを TV で見た人もいるかと思いますが、それはもう子のためではなく自己満足の領域になっていると痛感しました。

新しい学習指導要領がどのようになるかはわかりませんが、人が人として生きていける社会、関係性ができるように教育というのを多角的に真摯に向き合っていかなければと思います

☆ お知らせ ☆

- ・ 9 月分利用料は 10/26(月)に口座より引き落としされますのでよろしくお願い致します。

くんぱるハウス神領の携帯電話を用意致しました。(番号 080-2298-2637)

右の LINE の QR コードを読み取り、登録をお願いいたします。利用の追加変更、その他連絡事項がある場合、お手数ですが今後、こちらにご連絡頂ますようお願い申し上げます。

